

# 平成 25 年度事業報告

公益財団法人 文字・活字文化推進機構

# 平成 25 年度事業報告

## 1. 言語力向上に関する事業

### 1) 制度・政策改革、読書基盤づくり事業

#### ①印刷文化・電子文化の基盤整備に関する勉強会(座長 中川正春 衆議院議員)

平成 25 年度は、衆議院議員会館にて 3 回開催した。

#### ②出版物に関する権利検討委員会

4 月 26 日、第 2 回「出版物に関する権利検討委員会」を開催。中山研究会提言の概要報告をもとに意見交換をおこなった。

#### ③文字・活字文化の発展と税制のあり方を考える集い

10 月 30 日、衆議院第一議員会館で、新聞や書籍、雑誌の軽減税率適用を求める集会を開催。林真理子さん(作家)、酒井邦嘉さん(言語脳科学者)が軽減税率適用の必要性を訴えた。また日本書籍出版協会の相賀昌宏理事長、日本新聞協会の白石興二郎会長らが軽減税率導入に関する考え方や取組の現状について報告した。



#### ④海外事業者には公平な課税適用を求める公開フォーラム

11 月 26 日、参議院議員会館で上記の公開フォーラムを開催。海外から配信されるサービスには消費税が課税されないという不公平な現状の改善を求めるアピール文を採択した。国会議員 35 名を含む約 120 名が参加した。

#### ⑤学校図書館法改正緊急集会

3 月 18 日、衆議院第一議員会館で開催。子どもの未来を考える議員連盟の決意が表明され、文科省からは学校司書の法制化に伴う条件整備の報告があった。

出版関係者、学校図書館関係者など、約 250 名が参加した。



⑥読書推進フォーラム「人生をひらく読書の力」(共催:国立青少年教育振興機構)

読書調査の報告と、朗読、作家の講演をプログラムとした読書フォーラムを大阪・東京・長野・福岡で開催。4会場合わせて、約2100名が参加した。また、東京会場は、「文字・活字文化の日」の記念行事として開催した。

▽9月28日 大阪市 大阪会館

共催:読売新聞社

朗読:山根基世(アナウンサー)、報告:秋田喜代美(東京大学大学院教授)

講演:安藤忠雄(建築家)

▽10月26日 千代田区 イイノホール

共催:朝日新聞社

絵本に関するお話:柳田邦男(ノンフィクション作家)

報告:深谷優子(東北大学准教授)

講演:林真理子(作家)



▽11月30日 長野市 北野文芸座

共催:信濃毎日新聞社

朗読:山根基世 報告:立田慶裕(国立教育政策研究所総括研究官)

講演:浅田次郎(作家)

▽2月15日 福岡市 FFGホール

共催:西日本新聞社

朗読:眞野あずさ(女優)

報告:藤森裕治(信州大学教授) 講演:五木寛之(作家)

## 2)読書・体験活動事業

「高校生書評合戦首都大会 2013」

「ビブリオバトル首都決戦 2013」(共催:東京都ほか)

11月23日、関東1都3県と北海道夕張市の代表合計30名による高校生大会を開催。翌24日には、全国の予選を勝ち抜いてきた30名による大学生の大会を開催。両日とも千代田区・ベルサール秋葉原において準決勝、決勝を行い、出場者が各々のおすすめ本を熱く紹介した。両日合計で約5800名が来場した。



### 3) 言語力向上事業

#### 平成 25 年度言語力検定

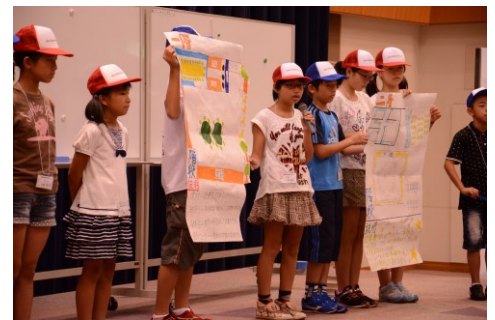
今年度より 1 級を新設。9 月 21 日～10 月 20 日までの間に、6 級～1 級の検定を実施。小学生から社会人まで、合計約 4,000 人が受検した。

## 2. 人材育成・能力開発のための事業

### 1) 子ども読書大使の養成 (共催: 国立青少年教育振興機構)

7 月 26 日から 3 日間、35 都府県 49 校の小学生 93 人を東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターに招待し、「平成 25 年度読書と体験の子どもキャンプ」を実施した。

子どもたちは野外炊事や「読書の楽しみ方を広げよう」をテーマにしたワークショップ、おすすめ本を紹介して競う書評合戦「ミニビブリオバトル」などを行った。

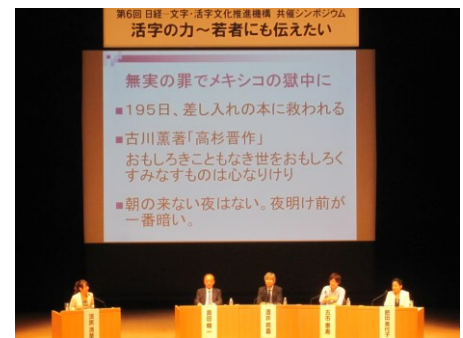


### 2) 言語活動・読書推進リーダーの育成

#### ① シンポジウム「活字の力～若者にも伝えたい」(共催: 日本経済新聞社)

9 月 14 日に千代田区・日経ホールで開催。作家 道尾秀介さんと杉江松恋さんのトークショー、島田精一さん(日本ユニシス特別顧問)、酒井邦嘉さん(言語脳科学者)、古市憲寿さん(社会学者)、肥田美代子理事長による「活字の魅力と底力」と題したパネルディスカッションを行った。

550 名が参加した。



#### ② 社会人向け研修会

当機構の調査研究委員である北川達夫さんによる研修会を、東京都庁職員等に向けて行った。

- 4 月 9 日 東京都庁新任者研修 参加者: 1,350 名
- 4 月 26 日 東京都職業能力開発センター 指導員・監督者研修 参加者: 30 名
- 7 月 2 日 東京都庁主事・主任者研修 参加者: 140 名
- 7 月 9 日 東京都庁監督職研修 参加者: 960 名
- 2 月 12 日他 東京都立職業能力センター(多摩、城北、城東、城南) 参加者: 280 名

### 3. 情報提供・広報活動のための事業

#### 1) 広報活動

活動実績や活動方針、講演会や研修会等の周知

ホームページ、メールマガジン、会報等で読書フォーラムなどの案内や募集、活動報告を行なった。



#### 2) JAPAN/MARC頒布活動

国立国会図書館の書誌データ「JAPAN/MARC」「JM-BISC」の頒布を平成 25 年 4 月より開始。

公立図書館、一般企業など 31 施設・法人と契約した。



#### 3) シンポジウム「公共図書館と知の地域づくり」(共催：柏原市図書納入組合 大阪府書店商業組合)

8月5日、公共図書館の充実と、地域書店の活性化について討論するシンポジウム「公共図書館と知の地域づくり」を大阪府柏原市で開催。約 300 名が参加した。